

## 令和6年度 第2学期終業式

今日で2学期が終わります。始業式の頃をちょっと思い出してみてください。猛暑日が日本最長記録を更新するニュースが毎日報道されていました。9月、10月になっても暑い日が続き、やっと気持ちいい秋風の時期になったかと思うと急に寒くなり、体調を整えるのが難しい学期でした。

そんな中、学校では色々な行事や活動がありました。福学オリンピックでは、各種目を楽しみながらも競い合い、クラスの絆を深めました。2年ぶりの文化祭は、全員で協力して準備や練習を行い、大勢のお客様の前で堂々と発表をして大きな拍手をいただいたり、笑顔の接客でたくさん商品を買っていただいたりして大成功を収めました。また3年生の職場実習や就職試験、1、2年生の就業体験も、緊張の中、真剣に臨んでいると報告を受けています。その他、様々な場面で一人一人が目の前のことに本気で取り組み、福学今年の漢字に「楽」が選ばれたように達成感を得て2学期を終えられることを嬉しく思います。

さて、これらの行事や実習、体験等は、簡単に進めることができましたか。多くの方が「楽しかったけど、大変だった」と答えるのではないのでしょうか。自分のやりたいことを実現させるためには、必ず「大変なこと」を乗り越えなければなりません。その先に、楽しさや喜び、成功が待っています。

「大変」の漢字を見てください。「大きく変わる」とも読めます。

2学期の行事等を通して、皆さんの心の中や行動で何かが変わっていれば、その「大変」は、とても価値のあるものだったと思います。大変なことは自分が良い方向に向かって大きく変わるチャンスだということです。

毎日の生活の中には、面倒だ、難しいと思うことがたくさんあります。どんな小さなことでも、「よし、やってみよう」とか「これを乗り越えるぞ」という思いで取り組むことが、やがて自分自身を大きく変え、成長させます。嫌なことや困難、大変なことから逃げていると、せっかくの成功や成長のチャンスは遠退いていきます。

明日からの冬休み、少し大変だなと思うことにも挑戦して、毎日を楽しく有意義に過ごし、自分の成長を感じられるようにしてほしいと思います。そして、新しい年を迎えるにあたり、それぞれの次の目標をじっくり考えてください。

年末年始が穏やかで、皆さんの心も体も充実した日になることを願っています。

令和6年12月24日

校長 中野 康子